

なかまの

中間市社会福祉協議会
社会福祉大会 臨時号



ふれあい・いきいき
サロンには笑顔が
あふれています！

だより

社協 86号

2018.12.10 発行



目次	表彰者紹介…………… 2～3頁	リフレッシュ体操 …… 4頁
	講演会「みんなで考えよう中間市の2025年問題」 …… 5～7頁	
	社会福祉大会を彩った協力者(団体)のみなさん…………… 8頁	
	街頭募金へのご協力ありがとうございました…………… 9頁	
	ふれあいいきいきサロンあるある …… 10頁	

発行者

社会福祉法人中間市社会福祉協議会

〒809-0018 中間市通谷一丁目36番10号 TEL 244-1230 FAX 244-1232
ホームページ <http://www.tip.ne.jp/nakamasisyakyou>

1

「みなさまからいただいた賛助会費を福祉大会で活用させていただいています。」



表彰者

◆民生委員児童委員 民生委員児童委員協議会選出

表彰者の中原さんをはじめ、湯浅さん・小林さんは、民生児童委員として10年間献身的かつ奉仕の精神により、地域に密着した活動をされ、地域福祉の向上に尽くされました。

Q. 活動するなかで、大切にしていることは？

なかほら きよみ
中原 清美さん



地域に暮らす方々の顔を覚え、気軽に何でも相談できるような関係づくりを日々心がけています。また、福祉の制度についてなどある程度は答えられるよう、その勉強も大事だと思っています。

ゆあさ のぶひろ
湯浅 信弘さん



困りごとや相談を聞ければ、すぐに行政にかけ合ったりと、早急に対応することをモットーとしています。やはり頼ってもらえる時は、嬉しく思いますね。

こばやし てつじ
小林 哲治さん



常に本人の立場になって、その気持ちや心情を理解したいと思っています。同じ目線でということをお大切にしています。
大会当日の謝辞では、更なる地域福祉の発展のためにも、職務を全うしたいと決意表明されました。



中原さんの訪問に同行させていただきました！

毎週1回はひとり暮らし高齢者宅に訪問されるとのこと。訪問することで、対象者に変化はないか、困りごとはないかをいち早く察知できるようにされていました。この日訪問させていただいた見守り隊相棒の松海さんとご近所同士の酒井さん・吉田さんと記念にパチリ！中原さんは、「私たちの方が教えてもらうことも多いし元気をもらうのよ」と教えてくださいました。

サロン関係者に聞く 中原さんの人柄

世話好きで、いろんなことを率先してやっています。みんなによく声掛けをされていて相談もよく受けていて、すぐに対応してくれています。

民生委員・児童委員の役割は

- 地域のこと・ひとをよく知り、常にアンテナを張って情報収集。共有できることは周知する。
- 相談等を受け、行政との橋渡し役となること。

◆明るい健康高年者 老人クラブ連合会選出



ふくやま さとる
福山 悟さん (95)

22年にわたり地域のリーダーとして活動され、人格円満。地域住民から父のように慕われ、現在もなお地域に貢献していらっしゃいます。

海軍兵として終戦を迎え、その後三菱化成を30年勤めあげた際、切り絵と出会い、教えるま



でになりました。切り絵の先生として中間市内各所で活躍され、現在でもサロンをはじめ活動されています。また、朝霧の老人クラブ会長も長年

勤められました。

サロン参加者に話を伺うと、「年齢を感じさせないし、健康的でしっかりされている。カラオケでも声がよく出る」や「何でもできて親切で人当たりがいい」という声が返ってきました。また今年の夏はミニトマトがたくさんできたこと、地域の方にも配って回る程お元気で、福祉大会終了後には白内障の手術も受けられ、やる気がみなぎっておられました。

今後の目標は？

切り絵の大作に取り掛かりたいと思っています。



社会福祉大会とは？



社会福祉に対する市民の皆様への参加と理解を図ることを目的に開催するイベントです。市内の福祉関係者が一堂に集い、これからの地域福祉の向上に一層の努力を誓い合います。また、社会福祉活動に功労のあった方々を表彰し、福祉に関する情報提供や講演会を開催することで、市民の皆様へ広く福祉活動の啓発を図ります。

感謝状贈呈者

◆社会福祉事業協力者 婦人会選出

会員歴 20年 にしざわ さえこ 西澤 小枝子 さん



人と人とのつながりを大切にしながら、地域の各団体の協力を得て活動しています。子どもから手が離れたことを機に、若輩者ながら、役員をさせていただきようになり、現在に至っています。みなさんパワフルで元気をもらっています。

会員歴 12年 さとう みちえ 佐藤 己千江 さん



つねづね木下会長も言われているコミュニケーションを大切にしながら、ボランティア活動にも率先して取り組んでいます。

会員歴 10年 もりもと くにえ 森本 邦枝 さん



コミュニケーションを大切にすること。そして地区のみなさんへの声掛けを常に心がけています。協力し合いながら、様々な行事に臨んでいます。

会員歴 10年 まつもと いくこ 松本 郁子 さん



みんなと仲良くということ大切にしつつ、できることをコツコツとさせてもらっています。

◆永年勤続者 民生委員児童委員協議会選出

民生委員児童委員歴 7年 いしだ よしひさ 石田 凱久 さん



Q. 活動するなかで、大切にしていることは？

地域の方々から、信頼される自分でなければ悩みや困っていることを打ち明けてもらうことはできないので、いつも笑顔と同じ目線でということをお大事にしています。

Q. やりがいは？

民生委員の活動は、一人でできるものではないので、地域の方々に、協力を仰ぎながら、させていただいています。活動のなかで「ありがとう」という言葉をもらったり、相手が喜んでくださったら嬉しいし、やる気にもつながっています。



リフレッシュ体操 ～参加者とともに～

会場全体を巻き込んで、参加者みなさんと一緒にレクリエーションを行いました。ステージ上には我らが隊長、運動指導員の増田とサポートの中村が指導者として立



ち、その傍らには市内各地区のふれあいいきいきサロンの選抜隊、会場にも多くのサロン代表者が通路に並び、会場はみどりに彩られました。練習に練習を重ねたみなさんは、緊張しながらも、やり遂げてくださいました。



各サロン紹介！とびきりの笑顔で！



練習風景

脳トレや音楽に合わせた体操をサロン選抜隊のみなさんが練習しました。通し練習でも、脳トレになるとやっぱり笑いが込み上げてきます。



会場全体が一体となって大成功でした！

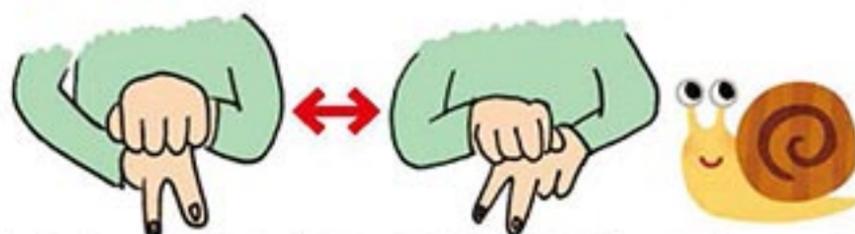


市内 28 カ所のサロンが自分たちのサロンの活動内容を紹介しました。



Let's try 脳トレ

♪でんでんむ～しむし カタツムリ～♪
に合わせて



グーとチョキを左右交互に入れ変える！というものです。
試してみてくださいネ♡



講演「みんなで考えよう中間市の2025年問題」 ～住み慣れた地域で人生の最後まで～

筑紫女学園大学 人間科学部人間科学科 心理・社会福祉専攻
教授 山崎 安則 さん

山崎先生は、これまで積んでこられた経験と情報に照らし合わせ、全国の現状と福岡県の現状、また中間市のことについても触れられ、分かりやすく話されました。

2025年には団塊の世代の方々が75歳を迎え、医療・介護・福祉の需要が更に増す超高齢社会に突入します。同年には高齢者は3,657万人となり2042年には3,878万人とピークを迎え、その後減少の一途を辿る予測がされています。

全国の65歳以上の高齢者に対するアンケートで「これからの不安」としてあがった項目は次の5つです。



- ① 健康・病気
- ② 年金・収入
- ③ 介護・福祉
- ④ 相続・お墓
- ⑤ 災害



あなたにも当てはまる項目がいくつもあるのではないのでしょうか？この不安要素と2025年2042年の予測を踏まえたうえで考えられる、一人ひとりの日々の暮らしはどうなるのでしょうか？

です。家族は、本人が何を希望しているのか確認しておらず、その後の治療方針や最期を迎えるにあたり頭を悩ませてしまうということです。

そして、災害は近年の日本ではどこにいても被災する可能性があります。ひとたび災害が起これば逃げようがありません。



高齢者が増えることで、年金をもらえる年齢は引き上がり、もらえる金額もどうでしょう？介護・福祉サービスにおいても、これまで週3回利用できていたものが週2回や週1回へと減らされる現実が来るかもしれません。高齢者があふれる一方で、それを支える側の人手不足が深刻となっているのも事実です。



みなさんは、これから何を
なすべきでしょうか？

山崎先生は、日常の中の支え合いが必要だと説かれました。どの不安材料もそうですが、特に被災地から聞こえてくる教訓としては、普段からやれていないことが、急にやれるはずがないということなのです。



また最近よく聞く話は、急に脳卒中となり、本人の意思がわからない状態になってしまうということ



「認知症」についても考えなければなりません。現在認知症と診断された方が462万人その予備軍が400万人。合わせると800万人を超えています。2025年には予備軍を除く認知症の方だけで700万人にまでのぼると予測されています。

最近よく聞くニュースで、高齢ドライバーがアクセルとブレーキを踏み間違えるといた事故。また認知症の方の踏切での事故。家族に高額な損害賠償が請求されたというものがありました。



この「認知症」の問題は本人・家族だけの問題なのでしょうか？いいえ、社会全体の問題として捉えなければならぬのです。

それではどんな方法で認知症高齢者を支援することができるのでしょうか？



それには、まず認知症高齢者を抱えているということを近所や顔みしりの関係各所に知ってもらうということからはじまります。デンマークのある都市では、うちのおばあちゃんがお金を払わず商品を持ち帰ってしまったら、あとで必ずお支払するので教えてもらえませんかとスーパーの方と約束事を取り決めておくなど、「認知症」の方にもやさしいまちづくりを考えている町があります。また、大牟田市では徘徊しても安全安心なまちづくりを地域全体で取り組まれています。

本人家族だけでなく、地域・社会全体で考えるべき時期が来ているのです。自分自身の問題として捉えることが、のちの自分自身を助けることにもなるのです。



ひとり暮らしや老々介護の問題もあげられます。

また75歳になると要介護率があがると言われています。65歳から75歳までの10年間をいかに健康で安らかに過ごすことができるかが、夢に描いた老後を左右することになってきます。だからこそ2025年を見据えて、今取り組まなければなりません。それは個人の問題だけでなく社会全体の課題として捉えなければなりません。そこで地域の互助の力が大事になってきます。

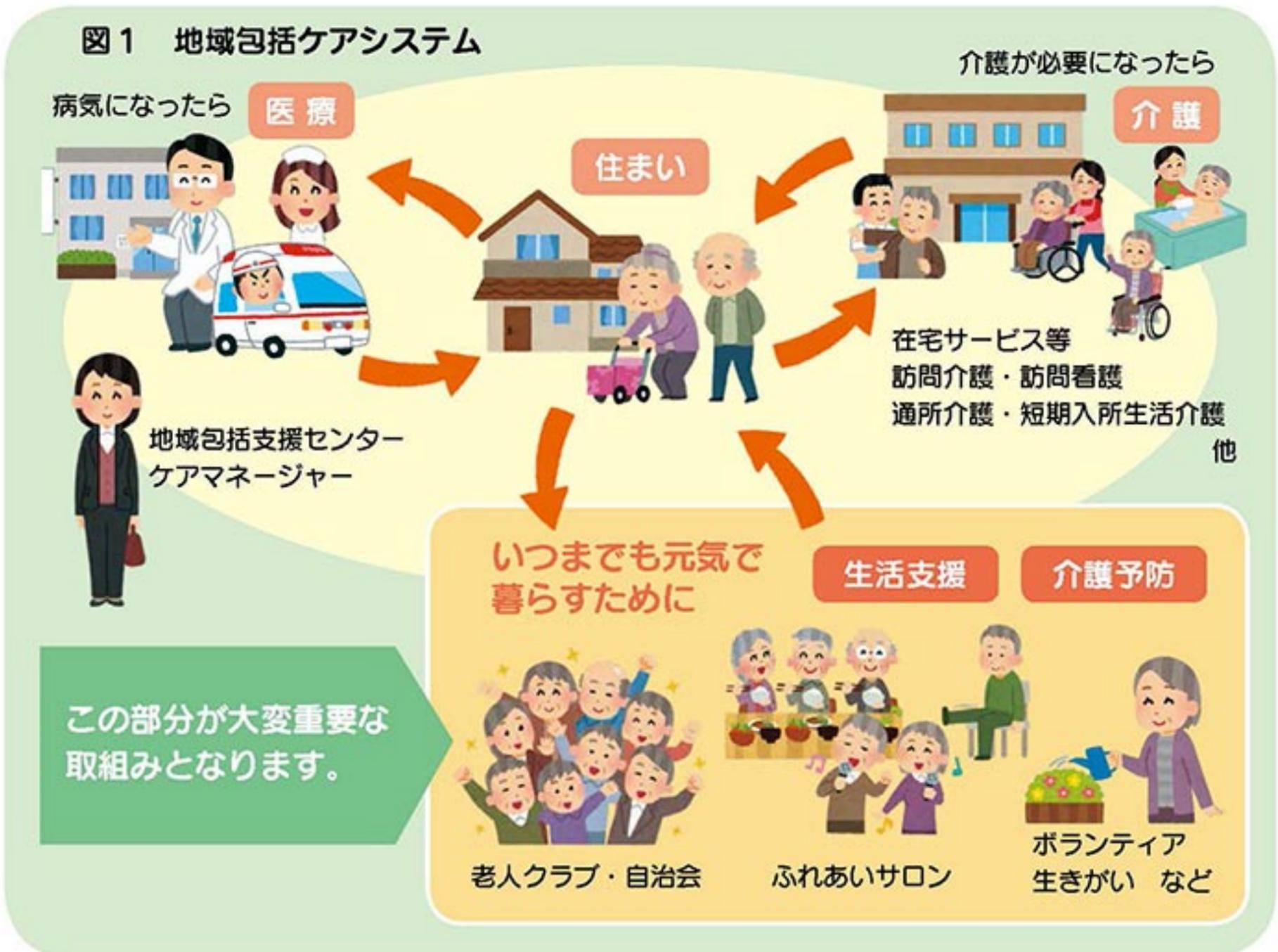


2025年を見据え、医療・介護・予防・住まいなどの生活支援について包括的に提供されるような体制が必要となっています。これを地域包括ケアシステムといいます。(図1)現在は高齢者の8割が病院か施設で最期を迎えるという現状の中、国はそれを在宅で最期を迎えられるような体制にしたいと考えているのです。それには医療と介護の連携が必要不可欠となります。在宅でかかりつけ医・薬局をもち、必要な時には病院や介護施設を利用して地域の中で暮らし、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けたいという考えです。

7ページへ



図1 地域包括ケアシステム



そのためには、老人クラブや自治会、ふれあいサロンやボランティアなど様々な活動を活発に行うことで互助の関係強化を図っていく必要があります。

また同時に、高齢者の方の社会参加をより一層推進することをとおして、元気な高齢者が生活支援の担い手として活躍するなど、高齢者が社会的役割をもつことで生きがいや介護予防につなげる取組みが重要となります。

地域に住むすべての人々が共に支え合って暮らす地域共生社会の実現により住み慣れた地域で最期まで、自分らしく、充実した人生を送ることができるよう、今日からがスタートです。

最後に、尊敬する日野原先生の言葉として「一步踏み出せば見えてくる景色が変わる 行動こそが不安を打ち消してくれる」という言葉をプレゼントしていただきました。これからは正念場です！



社会福祉大会を彩った協力者(団体)のみなさん



オープニング演奏 サックス奏者
森のぶゆきさん

心地よいサックスの音色が会場に響き渡る中、第12回社会福祉大会が開会されました。

森さんは、高校在学時にテナーサックスと出会い、1987年にプロとしての活動をスタートされ、様々なバンドを経て「オリジナル・ラブ」のメンバーとしてメジャーデビューされました。1995年には、たいせー&シャ乱Qの「ズルい女」で日本レコード大賞最優秀編曲賞を受賞されています。2006年に脳梗塞で倒れるも懸命なリハビリにより音楽活動を再開され、現在はクラウド・ナイン・オブ・ミュージックの代表として後進の指導や演奏活動をなさっています。

障がい者支援施設 なのみ園



生活介護事業の一環としてパンづくりを行っています。職員やボランティアさんのサポートを受けながら、パンができていきます。絶品のふんわりやわらかなこだわり食パンなど、大好評でした。さくら館でも販売中です。どうぞご賞味あれ♡

生活介護事業の一環としてパンづくりを行っています。職員やボランティアさんのサポートを受けながら、パンができていきます。

北九州高等学園



1年から3年生までの窯業を選択した生徒さんたちが精魂込めて作られた力作が所狭しと並びました。器の好きな参加者は品定め。どれにしようかな〜♪

社会福祉大会に合わせて市内の各団体が授産品製作に協力してくださいました！



- 🍩 一般社団法人オプティ
多機能型就労継続支援事業所いなほ (中間1丁目)
- 🍩 一般社団法人新生わくわく会
就労継続支援B型わくわくはっぴー (桜台2丁目)
- 🍩 特定非営利活動法人にじの会
れんげじ作業所 (蓮花寺3丁目)
- 🍁 社会福祉法人みんなの家会
ほのほのファクトリーファーム (中央5丁目)
- 🍁 社会福祉法人仲間会
障がい福祉サービス事業所 仲間園 (扇ヶ浦3丁目)
- 🍁 中間市社会福祉協議会
障がい者地域活動支援センターパルハウスぼちぼち (通谷1丁目)

社会福祉大会に参加された方は、授産品を手にとられ、「この作業所はどこにあるの?どのくらいの方々が通っているの?どんなことをしているの?」など、興味を持たれていました。



街頭募金へのご協力ありがとうございました



さくら保育園のちびっ子たちも



がんばりました!



10月1日より全国一斉に赤い羽根共同募金運動がはじまりました。街頭募金ではイオンなかま店にご協力をいただき、募金活動をさせていただきました。

中間市長をはじめ、行政関係者やさくら保育園の子ども達にも街頭に立っていただき、呼びかけを行いました。短い時間ではありましたが、たくさんのお気持ちをいただきました。立ち止まりご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。

街頭募金だけでなく、各自治会にご支援をいただき、各戸にご協力をお願いしました戸別募金。また学校での募金箱設置や法人・職域募金でのご協力にも感謝申し上げます。

12月から歳末たすけあい募金もはじまりました

歳末たすけあい募金は、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする方が、安心して暮らすことのできるよう、あったかな気持ちをおくるための募金活動です。

だれもがこの町の一員として、孤立することなく、安心して暮らすことのできる暮らし・地域づくりへ歳末たすけあい募金へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

歳末たすけあい募金は
このような取り組みに活用します!

-  福祉施設・団体への見舞金
-  障がい児・者通所事業所の歳末福祉行事
-  障がい者団体等の歳末福祉行事
-  支援が必要な方への歳末見舞金
-  ふれあいいいききサロン活動 など

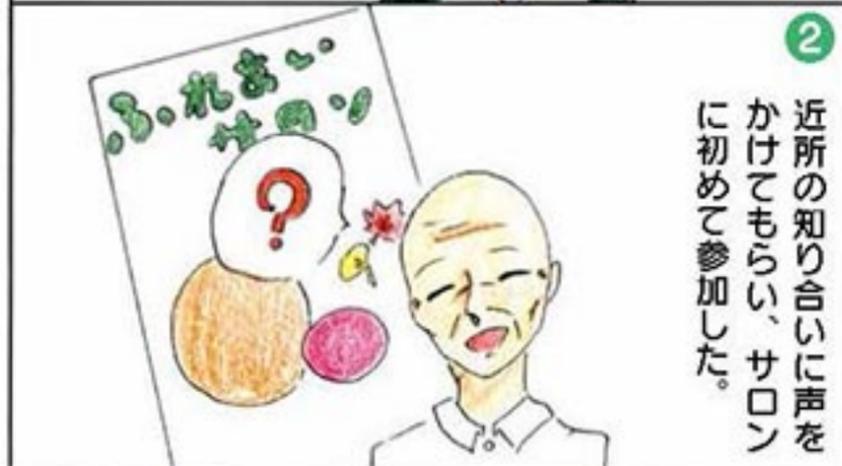
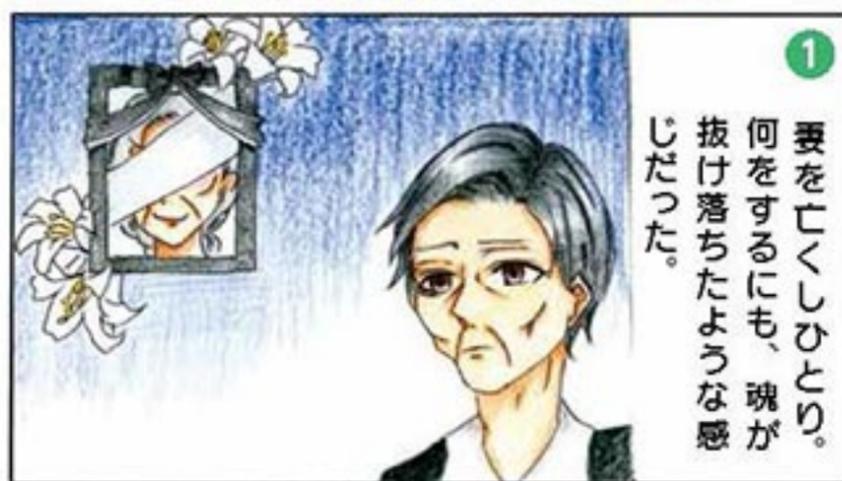




ふれあいいきいきサロンあるある

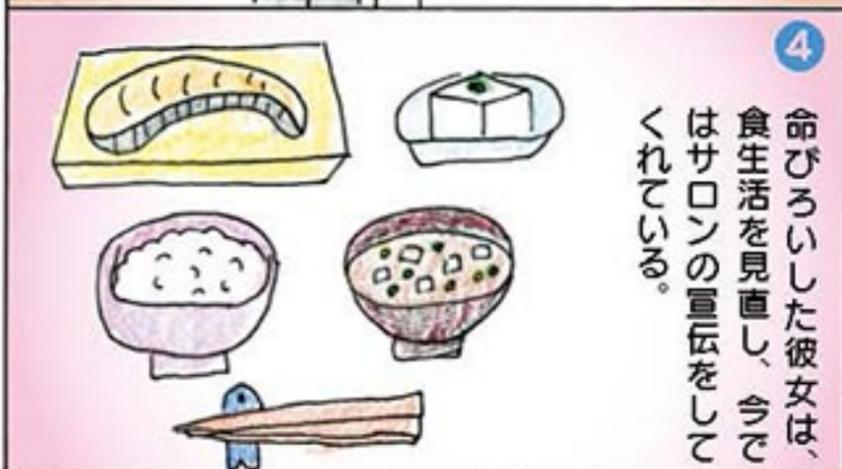


生きる元気をもらった



絵 中間高等学校 @ゆるめんさん

早期発見っ!!



絵 希望が丘高等学校 小城 香帆さん

サロンの効果いろいろ

☆仲間づくり・生きがいづくり ☆地域の防災力の向上 ☆寝たきり・認知症予防
 ☆孤立・閉じこもりの防止 ☆地域の福祉力を高めます
あなたの自治会にも サロン 作りませんか？

